

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道1号栗東水口道路Ⅱ」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線である湖南市の人口の伸びは近年横ばい、自動車保有台数の伸びは増加傾向。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成12年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率54% (平成27年3月末時点)。

平成19年度：起点部～野洲川渡河部 延長6.2km 2車線開通

平成23年度：野洲川渡河部～終点部(側道) 延長0.7km 開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成27年度：野洲川渡河部～終点部 延長0.7km 2車線開通予定

施設の構造や工法の変更等

事業の実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

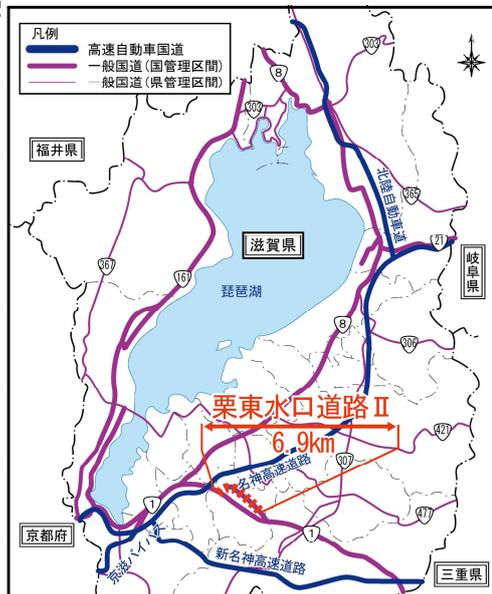
事業継続

対応方針決定の理由

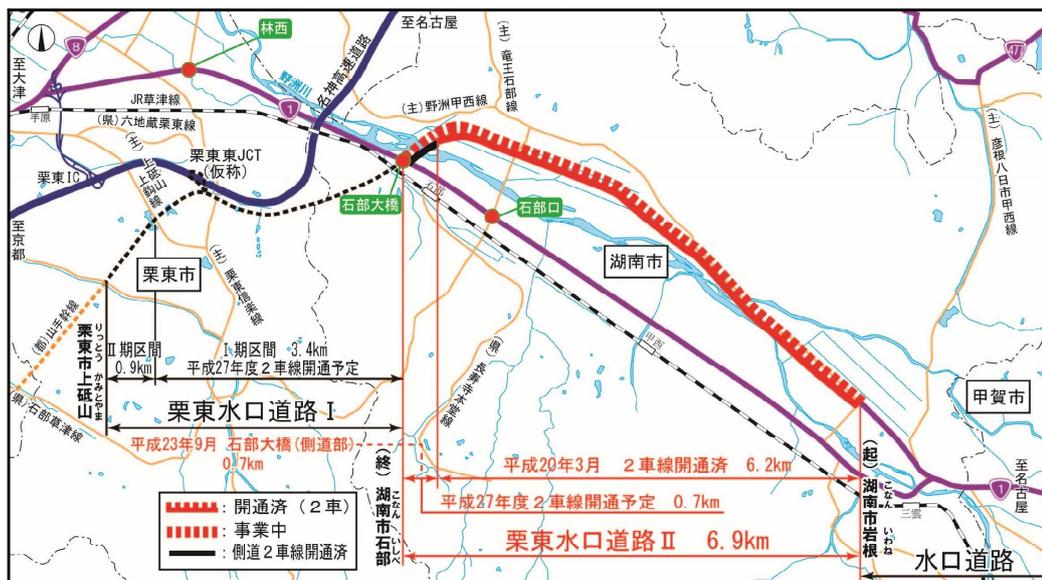
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。